

秋の火災予防運動

11月9日(日)～11月15日(土)

令和7年全国統一防火標語

急ぐ日も **足止め火**を止め 準備よし

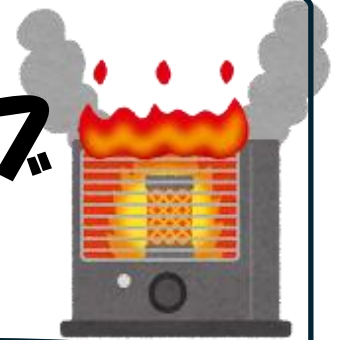
令和6年中松本広域消防局管内における主な火災原因



- ・風の強い日はやめましょう！
- ・消火用バケツ等を用意しましょう！
- ・その場を絶対に離れないようにしましょう！

- ・火を消してから給油しましょう！
- ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう！
- ・寝る時や外出時には必ず火を消しましょう！

ストーブ
7件



- ・たこ足配線はやめましょう！
- ・コンセントはこまめに清掃をしましょう！
- ・コードを束ねたり、ねじれたまま使用しないようにしましょう！



- ・こんろ使用中は、そばから離れないようにしましょう！
- ・こんろの周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう！
- ・使用前に鍋底に汚れ等がないことを確認しましょう！

こんろ
5件



通電火災対策してますか？

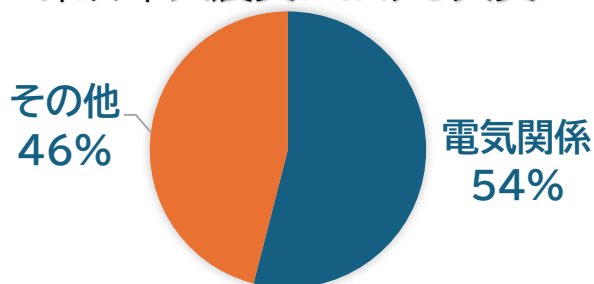
通電火災とは

地震で停電が発生し、地震の揺れで転倒した暖房器具が可燃物に接触したまま、停電が復旧した際に再通電することにより発生する火災です。

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。

最近の風水害においても停電の復旧に伴い通電火災が発生したことが報告されています

東日本大震災における火災



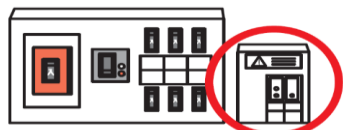
・通電火災対策に感震ブレーカーを設置しましょう・

感震ブレーカーは、震度5強相当の地震を感知すると自動的にブレーカーを落とし電気を止めることができる器具です。

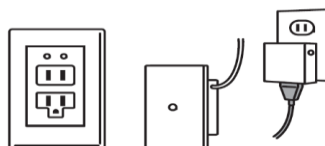
主な感震ブレーカーの種類



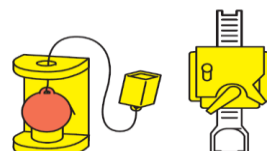
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

「住宅用火災警報器」の設置、点検していますか？

◆住宅用火災警報器は10年を目安に交換を！

住宅用火災警報器は電池で動いています。「いざ」というときにきちんと動くよう日頃から作動点検とお手入れをしておきましょう！

※点検は警報器のボタンを押すか、ヒモを引くことで行うことができます。音が鳴らない場合は電池切れです。